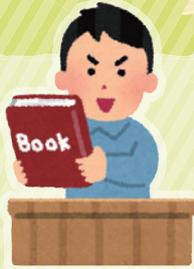


ウェブ投票
はこちら



第2回

押しホンバトル 総選挙



みなさんのご要望にお応えして(?) 2回目の押しホンバトルを開催します。今回は第1回の10冊を大幅に超える29冊の押しホンが集まりました。熱い思いが詰まった押しホンの中から、一番読みたくなった本に投票して下さい。各図書館に置いてある投票箱に投票してもらうほか、ウェブからも投票できます。みなさまの清き1票をよろしくお願いします。投票締切は11月30日(金)です。



No. 1

「LIFE SHIFT(ライフシフト):100年時代の人生戦略」 リンダ・グラットン

押しホンタイトル: ライフシフト ^{100年時代の人生戦略} ペンネーム: 海溝パスタ

みなさんはたった一度の人生 何才まで生きていきたいですか?

僕はこの本に出会うまで、80歳まで生きれば幸せだと思ってました。しかし、1997年に生まれた日本人の半数以上は103才まで生きると予測されています。100年の人生が当たり前になると、私たちの生活スタイルや仕事観は大きく変化し、これまでの常識だけで自分のキャリアを決めるのは大きなリスクとなります。いつの時代も、強いものではなく、その時代の環境に適応したもののみが生き残ります。一度読んでおいてはいかがでしょうか。

No. 2

「悪霊の島」 スティーヴン・キング

押しホンタイトル: 悪霊の島

ペンネーム: ワイヤマン

「最上の才能は、つねに飢えるのである。」

事故により、右腕を失い、さらに言語障害を患ってしまった主人公エドガー。それ引き換えに爆発的な絵画の才能を発揮していく。そしてそれは、成功と破滅の始まりだった……。さびれたフロリダのリゾート地に残る伝説と孤独な老女として、エドガーを追いつめるパーシーとは? じわりじわりと迫り来る恐怖、全てを失った絶望の後に残る群と癒し、圧制的権力加増。現代アメリカを表象するアイテムや英語ならではのユーモアも垣間見える。"ただのホラーではない" モダン・ホラーの帝王、スティーヴン・キング 円熟期の傑作。

No. 3

「朝日書評大成」 朝日新聞社文化くらし報道部編

推しホントイトル: 朝日書評大成 2001~2009 2009~2016 ペンネーム: ph695

朝日新聞に載った書評約7000点が載っており、文系・理系問わず社会問題・政治・歴史・サイエンス・アート・音楽・自己啓発・小説なんでもあります。言い方は悪いですが、私のような素人で興味・思想に偏りのある(?)人の書評よりよほど良いのではないのでしょうか。実際にこれをきっかけとして見つけた本もいくつかあります。

自分の好きな本の書評を探して、共感・反論するもよし、選ばれてないことに悦に入るもよし、適当に開いて新たな本に出会うもよしです。おすすめの評者は(私は自身が理系だと思っているので)瀬名秀明と川端裕人ですが偏りなく読みましょう。

書名・著者名・評者名・出版社名・キーワードの索引付きで便利!!!!

No. 4

「安部公房全集<10>」 安部公房

推しホントイトル: 安部公房全集 10 ペンネーム: 甲田申由

あの『砂の女』『箱男』で知られ、その難解な作風と奇矯な設定でファンを掴んで放さず、世界中に蕃羽訳されている日本の戦後文学の代表者である安部公房。その安部公房片反ドラえもんこそが、収録作『匹げの生ええパイ』である。

『匹げの生ええパイ』は思春期ラジエドラ作品であり、そのラジエドラが収録されている。思春期にして安部公房作品の中でも特に内容がわかりやすく、シカゴエレベータータイムであることまで描かれている。内容は吹けば何んでも吹けて、吸えば何でも吸い込むような魔法のパイとその所有者太郎くんの話。もちろん、安部公房らしい奇矯な展開や設定、皮肉や驚いユーモアもあるので安部公房ファンも楽しめる。安部公房作の正統でありながら異色作ともいえる本作を初読者からファンまで、広い人知ってほしい、是非、読んでみてほしい。そして、読み進めることで見えてくるテーマについて考えてみてほしい。

No. 5

「アメリカの鏡・日本」 ヘレン・ミアーズ 著 伊藤延司 訳

推しホントイトル: 『アメリカの鏡・日本』 2015年刊 ペンネーム: 原百代さんからの伝言

ミアーズ、1946年にGHQの諮問機関「常務政策11人委員会」メンバーの一人として来日し(常務基本法第2条に基く)帰米後の1948年(樺東軍審判の判決年)に「Mirror for Americans, Japan」を著し Helen Mears (1900-1989)の問いかけに「耳を傾けてみませんか?」
ヘレン・ミアーズは、アメリカ(連合国、GHQ)が日本どのように見えたか、どのように捉えていたか...を直截に述べた上で、その対日占領政策・対画等(日本改造計画、日本人改進黨)に疑念を表明し、問題提起し、アメリカ人に反省を求めます。
最初の翻訳者、原百代(1912-1991)さんは、「すべての日本人に言えたい」という思いから1948年に翻訳部に踏み込み、GHQでパーサーに出版許可を求めましたが「許されませんでした。1952年が出るまで、1952年の話にのぼることなくしたという歴史的経緯がありました。
アメリカが日本に対して1994年から要求してきた年次改革報告書に続き、TPP、そして現在進行中の数々の要望...をみる限り、今には、ミアーズが指摘した日本に与えるアメリカの政策(日本改進黨、日本人改進黨)の基となる、悲しいかな、変わりにみることです。
皆さんはどのように感じていますか?

No. 6

「アリス殺し」 小林泰三

推しホントイトル: アリス殺し

ペンネーム: 眠り鼠

"向こうから白兔が走ってくる。

時計から時計を取り出す。「大変だ!遅れてしまう!"

「不思議の国のアリス」の夢を見る,大学院生の栗栖川亜理。

ある日,夢の中でアリスが虫析蜎のビルと話していると,王様の家来せ馬が走って行くのを見かける。ハンパテ・ダニテが塀から落ちたらしい,これは殺人事件だと主張する頭のおかしい帽子屋と三月兔。容疑者にされたアリスはビルと事件の捜査を始める。

一方,現実世界でも玉子と呼ばれる博士研究員がキャンパスの屋上から墜落死する。

「夢の中の死 = 現実世界の死」の繋がりがあるとわかった亜理は,事件の真相を知ることができるのか?

No. 7

「アルジャーノンに花束を」 ダニエル・キイス

推しホントイトル: アルジャーノンに花束を ペンネーム: つむぎ

幸福とは,人の価値とは

知的障害を持ち,幼児ほどの知能しかない青年・チャーリーは脳外科手術を経て天才へと生まれ変わる。

「頭がよくなれば,きっと幸せになれる——」彼の純粋な期待は裏切られ,開かれた世界と引きかえに失うものは多かた。知りたくなかった事実,知能に追いつかない情緒,消えゆく人間らしさ。そして再び低下する知能の中で,彼が守ったものとは?

ダニエル・キイス 著 小尾美佐 訳 早川書房

ここが魅力!

- ストーリーを引き立てる秀逸な翻訳文字表現の真骨頂!
- 読後の余韻最後の2行の美しさ



No. 8

「いつかパラソルの下で」 森絵都

推しホントイトル: いつかパラソルの下で ペンネーム: イルカ

いろいろな仕事を転々としながら毎日をぼんやり過ごす私の前に,ある日突然現れた父の愛人ヤイギ。

「あなたのお父さん,絶倫なんです。」

彼女から告げられたのは,1年前に交通事故で他界した,異常なまでに厳格だった父の不倫と「絶倫」。父の死に対してどこか無関心だった私は,この言葉に突き動かされるように父のルーツを探り始める。

これは,恋人に別れを宣告され,今の仕事も失いかけた私が,父にまつある事件をきっかけに人生への新たな一歩を踏み出す「ハートウォーミング」ストーリー。

No.9

「虐殺器官」伊藤計劃

押しホントイトル: 虐殺器官

ペンネーム: はしあ

まあ、タイトルからしてわかる。読者のためと。むしろ、たそのおぼた。まあ、しあに
せむせむ手を取って下さい。気がつけば本の世界観にハマリこみ一気に読み間違い
なしてす!

舞台は近未来。主人公の仕事は暗殺。主人公はとある人物の暗殺の任務を政
府から任せてある。その人物が行く先々には100%の確率で民族紛争や大虐殺が
起こるのです…。その方法とは? 目的とは? 主人公の内々起こる葛藤や仲間
の死、そして出会いが物語の結末を思わせる方向へと導いてます…。

「地獄は豆頭の中にある」「戦争は啓蒙」。多くの名言に魂を揺さぶられ。
読み終った後は考えることばかり。残るものがたくさんあるはず。是非一度手
に取って読んで下さい!

No.10

「黄金(きん)の鳥」阿部智里

押しホントイトル: ^{きん}黄金の鳥

ペンネーム: たろはんだ!

めたガラス VS 大猿 !!

推理小説、ほい一面とファンタジー感あふれる世界に
ひきこまれます。シリーズ第3弾で、第1~2, 4~6も
おススメです!!

No.11

「恋文の技術」森見登美彦

押しホントイトル: 恋文の技術

ペンネーム: 赤い風船

理系大学(院)生に捧ぐ!!
読めば

「いかなる女性も手紙一本で籠絡できる技術」
が身に付く! かも

〜あらまじ〜
大学1年・守田一郎はある日突然、教授の意向で
京都から熊鷹の実験所に送り込まれることになる。
近況報告をするために守田が選んだのは、今では
めずらしい「手紙」だった。文通相手は、「怒が叫ぶま?
パンツをはきかえない女」、修論の邪魔ばかりしてくる
先輩、「痛いところをついてくるのが上手い女」、「かつて家庭
教師をしていた小學生」、大作家先生の森見登美彦氏。
そして…、「恋心を抱いている女性」。手紙を通して
語り継ぐ、守田を取り巻く人々のユニークな物語。

ロータリーエバポレーターの
陰で泣いたことのある人に
オススメ!

※電車で読むといきなり爆笑して
変な目で見られてしまうおそれがあります

※この小説は手紙だけで構成されており、
会話文や地の文はありません

読み終わったら 絶対に
文通したくなる!



No.12

「コーヒーが冷めないうちに」 川口俊和

推しホンタイトル: コーヒーが冷めないうちに ペンネーム: ブレンド

あなたには過去に戻って会いたい人がいますか？
過去に戻っても決して現実には変わらない、それでもその人に
会いたいですか？

不思議な喫茶店フニクリフニクラ、そこはカップに注がれた
コーヒーが冷めるまでの間だけ過去に戻れるという店だった
そこに言われた人たちが過去に戻ってやりたいこととは？
家族と、愛と、後悔と、それらが糸紡ぐ4つの物語
過去に戻ることにとどんな意味があるのか、ぜひご自身の
目で石籠かめてみてください！



No.13

「こころ」 夏目漱石

推しホンタイトル: こころ ペンネーム: 芭蕉

私が推す本は、皆様も存知のことでしょう。夏目漱石作の『こころ』です。
高校生の現代文の教科書にも掲載されているので、授業でこの作品を
学習したという方も少なからずいらっしゃるでしょう。終盤のKが自殺する
場面にはただならぬ衝撃を受けたことと思います。

私も高校時代に衝撃を受けた一人です。大学生になったこの機に
今度は一から読んでみたのです。先生と私の出会いを知った
上で、先生が私に遺した手紙やそこに記されたKのことと読
むと一味違った印象を受けました。Kの件がいかほど先生に影響を
及ぼしたかが、手に取るように分かる気がするのです。

皆様も是非、この印象を味わってみてはいかがでしょうか。

No.14

「これからの世界をつくる仲間たちへ」 落合陽一

推しホンタイトル: これからの世界をつくる仲間たちへ ペンネーム: 蒼ちゃん

魔法をかけらぬ子(僕)になりたいですか。

それ 魔法 をかけ子(僕) になりたいですか。

仕事は激減すると言われる未来にたいして、意識高い系のやり方
なんですか？ それで、コンピュータに仕事を奪わせます。や。

コンピュータとの差を生かすためにはどうしたらいいか。

現代の魔法使い 仕事 をつくりませんか。

No.15

「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」 山田真哉

推しホンタイトル: さおだけ屋はなぜ潰れないのか ペンネーム: まっごろう

タイトルにひかれて読みました。
物語かと思ったら、経済学の本でした。
いざおもしろかった。

No.16

「重力の虹」 トマス・ピンチョン

推しホンタイトル: 重力の虹 ペンネーム: まるキ

冒頭のストーリーが
スロースロップ小尉の勃起
⇒ 数日後、そこにV2ロケット落下
というもの。
正直「ふざけてるのか」と思いながら読んでいました。
ですが読み進むとだんだん楽しくなり、まるでドタバタ
コメディを観ているかのように笑えます。
「アメリカの大学生が読んだぶりする本No.1」らしいので、
広大生のみんなも読んで挫折して雰囲気だけ快楽しておこう!

No.17

「女装して、一年間暮らしてみました。」 クリスチャン・ザイデル

推しホンタイトル: ^{女装して、}一年間暮らしてみました。 ペンネーム: チェリー

普通のドイツ人男性である著者が「ストッキングを履く」という「タブー」を
破ったことから始まるジェンダーの話。

ストッキング・乳房(取り外し可!)・X17・Mヘル・女子会といった「女性」の
領域へ実験的に踏み込み、「女性」となることにより、著者は今まで
自分が囚われていた「男らしさ」の檻に気づく。そして女性として
日々を過ごすうちに、「男」であった時には全く関係のなかった
女性差別・セクハラ・男女の性差の存在を知ることになる。

この本は、著者が男女両方の立場で経験したことをエッセイ
形式で語り、私たち読者が現実の社会問題としてジェンダーを
考えることの必要性を訴えている。

No.18

「深夜特急 1 香港・マカオ」 沢木耕太郎

推しホントイトル: 深夜特急 1 香港・マカオ ペンネーム: 瀬戸内

大学生が読んではいけない本。

バックパッカーの旅のバイブルとして有名な本書。仕事も全て投げ出して旅に出た〈私〉は、インドのデリーからイギリスのロンドンまで乗合バスで旅をする。実話をもとにした紀行小説。一卷読むごとに、世界と自分の可能性が広がります。

深夜特急

沢木耕太郎

読めば、旅に出たくなる。

私はこの本をいつも旅先で読んでいました。でないと、授業を放り出して旅に出てしまいそうで…。これ読んで留年しても、私は責任とりません笑。

No.19

「絶望ノート」 歌野晶午

推しホントイトル: 絶望ノート / 歌野晶午 ペンネーム: Y

「オィネアギブト様、是永雄一郎を殺してください」
学校でいじめられている、中学2年生の太刀川照音は、その苦しみを「絶望ノート」と名づけた日記帳に書き連ねていた。照音はある日、見つけた石を神、「オィネアギブト様」とし、いじめグループの中心だった是永の死を祈り、日記に記した。すると、是永は死んでしまった…。



悪化するいじめに対し、照音は神に死を祈り、次々と死んでいく級友たち。神が殺したのが、それとも…？
照音、両親、教師、級友、様々な視点から物語は進んでいきます。何が本当で、誰が悪いのか、分からない。そして衝撃の結末。だまされたい方は、せ“ひ”!!

No.20

「多動力」 堀江貴文

推しホントイトル: 多動力 ペンネーム: 菅ちゃん

1つの仕事をゴリゴリとやり、英面目、根性、我慢、目的、成功…

今の世に求められている、これを 金2 疑え

常識に捕らわれない子な。

それ。

動き続けろ。

これから、自分のしたいことをしよう。自分で自分のルールを教える。

そのために、早く 動き始めよう。

No.21

「ドグラ・マグラ」 夢野久作

推しホンタイトル: ドグラ・マグラ ペンネーム: まるキ

……………ブウウ……………ンン……………ンンン……………。
 あ——ア。サアサ寄った寄った。寄って読んでくんなれ。
 さても恐ろしい小説じゃ。聞いてビックリ読んでビックリ。
 一度読めば元の自分に二度とは戻れぬ、日本ミステリー文学の金字塔じゃ。
 「キの字」とされた青年。頭のおかしな医学者連中。
 揃いも揃って個性派揃いの病院譚じゃ。
 青年の生い立ち、博士論文、キチガイ地獄外道祭文、等々なんでもござれ。
 読めば狂人に近くのは確実じゃ。されどソナナ心配一切ご無用。
 狂えば九州帝国大学精神病院にて新種の治療を受けるべし。
 脳髄は物を考える処に非ず、地球表面は狂人の一大解放治療場なのじゃ。
 嗚呼、なんと意味不明な小説……チャカボコチャカボコチャカボコ……
 ……………ブウウ……………ンン……………ンンン……………。

No.22

「何者」 朝井リョウ

推しホンタイトル: 何者

ペンネーム: 瀬戸内



何者 (朝井リョウ)

@NANIMONO

120 フォロー 6.3万 フォロワー

プロフィールを編集

これは、#就活を目前に控えた#大学生5人の物語。「就活が辛いものと言われる理由は、ふたつあるように思う。ひとつはもちろん、試験に落ち続けること。(中略)そしてもうひとつは、そんなにたいしたものではない自分を、たいしたもののように話し続けなくてはならないことだ。」就活の疑心暗鬼におちいる前に、#これから就活を始める方はぜひ一読をおすすめします…。

ツイート

ツイートと返信

メディア

[いいね](#)

No.23

「日本現代怪異事典」 朝里樹

推しホンタイトル: 『日本現代怪異事典』

ペンネーム: オットセイ

… わたしメリーさん。今ゴミ捨て場にいるの
 … え? 大学生はもういい大人だから そんな子ども馬鹿しの都市伝説は信じない?
 フフ、それもそうね。でも勉強や進路、人間関係といった現実には疲れ気味の
 あなた達にこそ私のような存在が必要じゃないの?
 … そんなあなた達にこの『日本現代怪異事典』をおすすめするわ。
 「トリの花子さん」「口裂け女」みたいな有名どころから、ローカルな都市伝説まで盛りだくさん。
 言えればたちまち怪異の世界に引き込まれて、あなたの学生生活もきっと愉快になるわ。

… わたしメリーさん。今この本を持って あなたの後ろにいるの

No.24

「変体少女文字の研究」 山根一眞

推しホンタイトル: 変体少女文字の研究(山根一眞) ペンネーム: ph 675

みんな「丸文字」ってしるこま?もしかしたらお母さんが書いてるのをみたことがあるかも。70~80年代にはあやうた書き方なんだけど、これはあの「丸文字」についての本なの。

わたしはくせ字だから気になっよんをみたんだけどいっしょしれおもしろかった!

この本をなんよもちゃんと本になよんわかつたし、もっといっしょじふんの好きな本をよみたいな。。。♡

No.25

「墨子」 浅野裕一

推しホンタイトル: 『墨子』浅野裕一、講談社ペンネーム: 池松

「人間の愛に溢れ、知性の輝きを伴った墨家の明快な論理も、得体の知れぬ人間の心の暗闇に抗すべくもなき呑み込めたる感がある。」この本の中で私が最も気に入ってる一節です。墨家の思想的体質とそれに法が紹浅野先生の哀惜の念がキラキラと結晶化しています。

墨家は諸子百家の二つであり、侵略戦争を否定し、人は皆互いに害することをやめねばならぬとの非攻兼愛等の主張をなさげた、春秋戦国時代の一大学派です。弱肉強食の時代にあつて、理想を実現するため、彼らは各地の城におもむき防衛戦争まで担当したヤバい集団です。権勢を誇るも、秦帝国の成立とともに、その後20世から消え失せます。

理想を掲げ、歴史の波間に消えた集団、墨家。一般向けの学術書でありながらその魅力も余すところなく伝えるこの本を手にとってみてください。

浅野先生のどことなく斜に構えた文章もお楽しみいただけます、まずは解説から。

No.26

「ぼくと1ルピーの神様」 ヴィカス・スワラップ

推しホンタイトル: 僕と1ルピーの神様 ペンネーム: ア/マロカリス

ある日僕は逮捕された。理由はクイズに全問正解したから!? 教養もない孤児である僕。クイズの賞金は史上最高額の1億ルピー。警察は僕のことを信じてはくれない。そこに現れた助けしてくれるという謎の女性。果たしてこの人を信じるべきか? さあ運命の分かれ道。こんな時僕はコインを指ではじく。僕の幸運の1ルピー硬貨。表が出るか裏が出るかコインは空へとはじかれた。

この物語を描いたのはインドの外交官! その目で見たいンドの現状とは!? クイズ番組「ミリオネア」方式のハラハラ、ドキドキが止まらないストーリー展開! 果たして神様とは何なのか、そもそも存在するものなのか!?

僕は石確かに矢口っていた。そのクイズの答えを。さあ運命の分かれ道。僕の過玉を知れどわか。悩むのならば幸運の1ルピーをはじくと食い。表か裏か。その答えを僕は石確かに知っているだろう...

No. 27

「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」 河合雅司

推しホンタイトル: 未来の年表 人口減少日本でこれから起きること(河合雅司) ペンネーム: 夏を待つ帆

「少子高齢化」という言葉は、今や日本人なら誰もが知っているものだろうが、それを漠然としか捉えられていない。自分の向題として考えていてお人か多いのではな
いか? 本書は、「少子高齢化向題」といふより付随する周辺向題をのいてア
ン図表データにより論じている(「00年向題」が頻繁に出てくる)。日本の今、
そして未来が「いかに危機的状況に追い込まれてくるか」はオと分かる。
少子高齢化向題とこの周辺向題の課題が見えるが、「本に書かれた将来向題に
起るであろう各々の出陣が、頻りに自分にどう影響してくるだろうか」とい
う視点で読んでみるのをオススメします。読後感には、オに、
「医者から余命0年と告げられたあと」といった感じですか。

No. 28

「民衆のアメリカ史:1492年から現代まで」 ハワード・ジン 著 富田虎男ほか 訳

推しホンタイトル: 民衆のアメリカ史 ^{1492年から} _(現代まで) (増補版) ペンネーム: ショッキング・ブルーさん

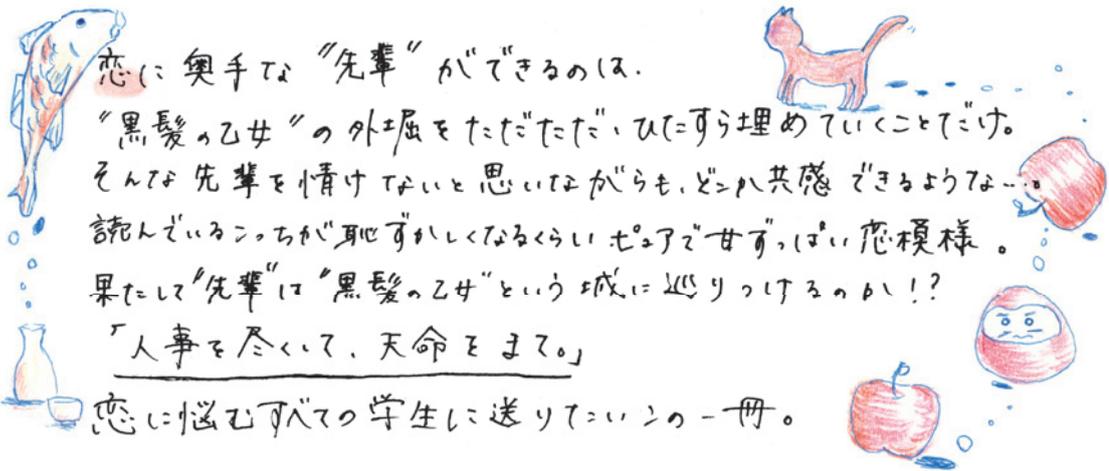
この本に、偶々手にしたのが、すこしい衝撃を受けています。アメリカの歴史と云って、アメリカ
だけのことにとどまらない世界中にかかわっている歴史です。読み進むことが、オにはとても辛
苦しい内容でした。目からうろこ(日本で一般にニコス等で流布されてきたものとは違う!)
無意識のうちには持つべき歴史認識を、根柢から覆されるようです。
皆さんは覚えていますか? 2004年4月、世界中に配信された、イラクのアフガリイ「刑務所」での残忍きあまりない残酷
拷問 虐待ビデオ! (オには) 絶対にショックでした。こんなことが21世紀にもなって、
現代社会で、今現在起っているんだ、信じられないことでした。許されないことでした!
この本を通読すると、アフガリイが起きたことは、今に始まったことではないことを、根が深いことを
思い知られます。米國がうたう「自由」「平等」「民主主義」...の実態、実像が
ハワード・ジン(1922~2010.12)の手により、明らかにされます。皆さんも、一度手にしてみたい
ハワード・ジンを後 盟友の世界的な矢の巨匠ノム・フロンスキー(90歳の現存も現役で)
とともに、教子のナオミ・クライン(ショッキング・ドクトリンの著者)が、世界に警鐘を
鳴らし続けています。

No. 29

「夜は短し歩けよ乙女」 森見登美彦

推しホンタイトル: 夜は短し歩けよ乙女 ペンネーム: booc

恋に奥手な「先輩」ができるのは、
「黒髪の乙女」の外屈をたた「た」ひ(可)う埋めていくことだけ。
そんな先輩を情けないと思いたがらも、どんな共感できるような...
語っているところが、恥ずかしくなるくらいオアで甘ず、ばい恋模様。
果たして「先輩」は「黒髪の乙女」という域に巡りつづけるのか!?
「人事を尽いて、天命をまて。」
恋に悩むすべての学生に送りたいこの一冊。



学生協働交流シンポジウムを開催しました

9月6日と7日の2日間、総合科学部棟で、学生協働交流シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは毎年中国四国地区の大学図書館が実行委員会となって開催し、今回で8回目となりました。全国の大学図書館の職員と学生とが、お互いに協力し合っ

てよりよい大学図書館を目指す、「学生協働」の活性化を目的にしています。今年の参加数は43大学約200名と、大盛況でした。主なプログラムは、各大学に

よる事例発表や、活動内容を紹介するポスターセッション、新たな図書館の企画を立てたり学生協働の悩みを相談したりするグループワークでした。広島大学からは図書館サポーター HULSが参加。たくさんの参加者を前に、これまでの活動（小展示目録、書庫ツアー）を発表しました。学生協働の裾野はどんどん広がっています。広大生のみならず、図書館と協働してみませんか？



ビブリオバトル チャンプ本決定

*ビブリオバトルとは、バトラー（発表者）が自分のオススメの本を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか？」を決める知的書評ゲームです。



バトラーの皆さん

[左から]植木さん、島田さん、兼松さん[チャンプ]、森島さん

9月28日、中央図書館BIBLAにて、『全国大学ビブリオバトル*2018～大阪決戦～中国Bブロック地区予選 in 広大』を開催しました。バトラー（発表者）は4名、観戦者は約20名でした。この予選で、チャンプ本に輝いたのは、文学部2年 兼松さんの紹介した

坪倉 優介
『記憶喪失になったぼくが見た世界』

でした！ その他のバトラーの皆さんが紹介してくれた本は、次の3冊です。

●堀内公太郎『公開処刑人 森のくまさん』

●フィリップ・K・ディック
『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』

●柘永太『月の輝く夜、僕は君を探してる』

バトラーの皆さんは5分の持ち時間で、身振り手振りを交えながら、本の魅力を言葉巧みに語ってくれました。チャンプの兼松さんは11月3日に広島県立図書館で開催される中国Bブロック地区決戦に出場します。皆さん応援をお願いします！

インターンシップを行いました

9月3日～11日まで中央図書館でインターンシップを受け入れました。今年は3名参加してくださいました。業務説明と実習、学生協働交流シンポジウムへの参加など盛りだくさんな内容で大変だったと思いますが、頑張ってくれました。社会に出てもしっかり活躍できると思います。ありがとうございました。



お知らせ 中央図書館にカフェがオープン



中央図書館入口エントランスにla la Caféがオープンしました。勉強の合間のリフレッシュなどにご活用ください。

営業時間 20:15-23:30
[授業期間の平日のみ]

※支払いは広大生協電子マネーのみ

英語多読強化キャンペーン実施中

中国・四国の国立大学（一部）と共同で多読キャンペーンを実施中です。それぞれの期間に設定される目標の達成数に応じて中国・四国の大学図書館グッズなどをプレゼント！ 詳細は図書館HPのお知らせをご確認ください。



図書館サポーターHULS活動報告

HULS(Hiroshima University Library Supporter)は、「図書館を人と人の架け橋に」をモットーに活動しています。この広報誌「みんと」の記事も作成していました。小展示、学生選書のほか、イベント企画など、新しいことにもチャレンジしています。

http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=7158

@huls_vobrist

<https://www.facebook.com/HULibrarySupporters/>



メンバー随時募集中

編集後記

「みんと」は20号をもって休刊することになりました。長らくのご愛読、ありがとうございました。今後はTwitterやFacebookなどで、図書館のホットな情報をお届けする予定です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

HP <http://www/lib/hiroshima-u.ac.jp>

@HiroshimaU_Lib

<https://www.facebook.com/HiroshimaULib>

みんと20号 平成30年10月31日発行

広島大学図書館

〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2